

医学部

良き医療人材の育成と
生命科学分野の研究拠点を目指して

医学部は、昭和49年に設立された宮崎医科大学を前身とし、平成13年に看護学科を併設しました。
平成15年10月に宮崎大学と統合し、宮崎大学医学部となりました。

看護学科

P 29

医学科

P 27



<https://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/>

医学部の教育理念・目標

教育・研究・診療を通して、地域社会や人類全体の健康と福祉の増進に寄与し、高潔かつ温かな人間性を有し、最新の幅広い知識と確かな技術を持ち常に向上のための努力を惜しまず、地域の問題を理解すると共に豊かな国際性を有する医師、看護師、研究者、教育者を育成します。



施設紹介



臨床技術トレーニングセンター



フロンティア科学総合研究センター



総合教育研究棟



総合周産期母子医療センター



■医学部の使命

宮崎大学医学部は、「地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に、進歩した医学・看護学を修得せしめ、人命尊重を第一義とし、医の倫理に徹した人格高潔な医師、医学研究者、看護職者及び看護学研究者を育成し、国内外の医学及び看護学の水準向上と社会福祉に貢献すること」を使命としています。

卒業生からのメッセージ



九州大学医学部附属病院
看護師

松山 真理 菜 さん Marina Matsuyama
宮崎県 都城泉ヶ丘高校出身

大学での講義や演習の学び、病棟での実習が現場に繋がる。

私の母は看護師で、物心着いた頃から人の命に携わる母の仕事に魅力を感じるようになり、看護師の道を目指しました。私が本学を選んだ理由は、最先端の医療現場である大学病院での臨地実習や医学部を有する総合病院ならではの整った教育環境があったからです。看護師となった今、学生時代の実習や講義、国家試験のために勉強した知識・技術が現場に繋がっていると感じます。

現在私は、救命ICU働いています。救命ICUは日齢0歳の新生児から高齢者まで幅広い年齢層の方を対象とし、疾患も多岐にわたります。重症患者さんが多いので、患者さんの容態を細かく観察し、小さなサイン1つも見落とさずに対処することが求められます。患者さんが回復される姿を目の当たりにすると大きな達成感と喜びを感じることができる部署でもあるため、緊張感を持ちながらも、学生時代に学んだ知識や技術を生かし、思いやりのある看護を目指して日々の業務に励んでいます。

温暖な気候と豊かな自然、美味しい料理がある宮崎で、皆さんが様々な経験をして、将来に向けて成長できることを応援しています。



医 学 科

School of Medicine



地 地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に国際的にも幅広く活躍できる人命尊重を第一とした医師、医学研究者を育成します。

地域医療の強さが魅力 人の心に寄り添う医師



医学科 4年

土田 陽菜子 Hinako Tsuchida
宮城県 宮崎第一高校出身

宮崎に残りたくて、地元で学びたいという気持ちが強かったので宮崎大学を選びました。また、本学は地域医療に強いということが魅力でした。高校当初は薬学部志望だったのですが、医学部に行った高校の先輩の話を聞いて、なりたいのは医師だと思いました。本学科は基礎医学が1年からあり、入ったばかりでも解剖組織などを学べるので、勉強するにもモチベーションが保てます。学生のことを考えてくださる先生方が多くいらっしやって、普段の講義から国家試験のポイントを教えてくださり、医学科4年で受けるCBTの試験のための講義を実施してくださるなど、環境に恵まれていると思います。

もともと人の心に関わる仕事をしたいと精神科医を志望していましたが、他の科でも人の心に関わりますし、実習を通してそれぞれの科にそれぞれの魅力を感じています。人の心に寄り添うだけでなく知識と技術がある信頼される医師になりたいですね。

医学科 カリキュラム

※2024年度入学生までのカリキュラムとなります。

	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	5 年 次	6 年 次
教養教育科目	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、専門接統系) 課題発見科目(データサイエンス系、自然・生命・技術系、人文・社会・芸術系、地域・国際・学際系) 未来共創科目(構想・デザイン系)	英語				
基礎形成科目	(地域社会と医療) EMP I (医学研究演習 I) 肉眼解剖学 I 組織学総論	早期地域医療実習 生命科学展望 (医学研究演習 II) 肉眼解剖学 II 組織学各論 機能生化学 医科生化学 医科生理学	統合生理学 免疫・生体防御学 寄生虫学 チュートリアル ～症例から学ぶ～ 環境中毒学 医学実験動物学 臨床倫理基礎論	研究室配属 (医学研究演習 III) 薬理学 病理学 微生物学	(EMP II) (医学研究演習 IV)	(EMP III) (医学研究演習 V)
臨床医学科目		地域医療学	循環器 消化管 呼吸器 肝・胆・膵 膠原病・感染症 臨床実習前の共用試験 (知識の習得状況を測定する試験)	神経・運動器・骨椎 眼科学 精神医学 放射線医学入門 臨床実習前の共用試験 (知識の習得状況を測定する試験)	内分泌・代謝 血液 腎・尿路 皮膚科学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 歯科口腔外科学 救急治療と急性期の生体管理 新生児・小児科学 共用試験 <CBT><Pre-CC OSCE>	生殖医学 老年医学と緩和医療 リハビリテーション医学 臨床遺伝学 臨床腫瘍学 薬剤処方学・東洋医学 臨床診断学 臨床実習前の共用試験 (技能や態度を評価する客観的臨床能力試験)
				クリニカル・クラークシップ I (4年～5年) <病理学・臨床検査医学><内科学> <精神医学><小児科学> <外科学><整形外科学> <リハビリテーション医学> <皮膚科学><泌尿器科学> <眼科学>	<耳鼻咽喉科学><産婦人科・周産期学> <放射線医学><麻酔学> <脳神経外科学><歯科口腔外科学> <薬剤処方学・東洋医学・医療安全学> <救急医学><CMC(田野病院)> <地域医療学(在宅医療を含む)> クリニカル・クラークシップ I 到達度試験 クリニカル・クラークシップ II (5年～6年)	臨床実習後の共用試験 (技能や態度の習得状況を見定める実技試験) Post-CC OSCE

()は自由科目

医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。



医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力(主体性・学問への関心)を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力(知識・技能)と他者と協調・共感できる豊かな人間性(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。



医学科 機能制御学講座 血管動態生化学分野
教授 西山 功一 Koichi Nishiyama

あくなき探究心を持つ医学人として 未来の医学界を支えよう！

医学は、人そのものを診る学問です。根底では、体の構造や機能の正常と異常を理解し、病気の原因や治療・予防法を追究します。医師・医学人には、豊かな人間性と、科学的知識や技術に基づく高い専門性が求められます。医学は未解明なことも多く、その理解は日進月歩です。つまり医学人は、目下の課題に常に真摯に対峙し、深い学びの姿勢でそれを解決し続ける必要があります。

本学では、早期から医学人としての自覚を持ち学びの楽しさを知る、教育プログラムを整備しています。英語教育にも力を入れグローバルな医学人を育て、活発な課外活動により豊かな人間性を育みます。このような充実したキャンパスライフを通して、宮崎から世界で活躍できる医師・医学人を育成しています。明日の医学界と一緒に支えましょう！



医師として働き続けるための 『キャリアデザインサポート』体制

宮崎大学医学部では、医学科の卒業生及び学生が個人の資質を最大限に発揮しながら、医師・研究者として社会貢献を果たすキャリア形成を支援しています。大学ホームページ上では、専用サイト「キャリアデザインサポート」

 Career Design Support

宮崎大学医学部卒業生を支援するサイトです

を運用し、卒後臨床研修プログラムや専門研修プログラム、医学研究及び大学院進学、海外留学等に関する情報提供をはじめ、登録された卒業生・学生の問い合わせにも対応しています。

また、宮崎の医療を担う若手医師の育成のため、宮崎県を始めとする自治体、医師会、大学病院の三者が一致協力して、オール宮崎体制を築いています。

大学や附属病院の情報提供はもちろん、本学医学部で学んだ皆さんを卒業後も大学教員・職員・宮崎県が一丸となって応援していきます。

卒業後の主な進路

臨床研修医

(本学附属病院、他の国公立大学附属病院、他の公立・民間等病院)

取得可能な免許、資格

■ 医師(国家試験受験資格)

看護学科

School of Nursing



社 会と地域の保健医療に貢献できる人材を育成します。何よりも豊かな人間性を大切に、人々の健康な生活への援助を実践するために附属病院の最先端医療設備を活用した高度な看護学を学びます。

地域に根差した学びが充実 保健師の資格取得で未来が広がる



看護学科 3年

福田 羽蘭 Urin Fukuda

宮崎県 小林高校出身

看護師として働く母を見て、私も自然と目指すようになりました。本学は大学病院に隣接しているため、現場で働いている現役の医師や看護師の講義もあります。そのため現場で必要な視点を学生の時から教えてもらえます。実習で実際に役立つ対応力や必要な考え方を授業で知ることができます。また、看護師の資格だけでなく保健師の資格も取得できるため、将来の選択肢を広げることができるのも魅力だと思います。保健師の視点も持ちながら看護師として働くのも良いなと考えています。また、ひむか看護論という地域医療に特化した授業も特色です。本学は地域に根差した医療が学べます。実習は大変ですが、先生や学科の仲間が支えてくれ一緒に乗り越えられますよ。

看護学科 カリキュラム

※2024年度入学生までのカリキュラムとなります。

	専門基礎科目			専門科目								【保健師課程】
	人間理解	健康と疾病理解	保健社会の仕組み	基礎看護学	在宅看護学	地域看護学	成人・老年看護学	精神看護学	小児看護学	母性看護学	統合と実践	
4年	臨床倫理	臨床薬理学		症状・徴候からみる フィジカルアセスメント							看護研究Ⅱ 災害看護論 総合実習 看護教育発達論 がん看護 心身よさをもたらす看護技術 AYA世代の健康課題	公衆衛生看護学分野 公衆衛生看護演習 公衆衛生看護管理 公衆衛生看護管理演習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
3年	(ENP BⅢ)			看護管理学 医療安全論	ひむか看護実習Ⅱ 在宅看護援助論 在宅ケア実習		成人看護援助論Ⅳ 成人看護援助論Ⅴ 老年看護援助論Ⅱ 成人・老年看護学実習Ⅰ 成人・老年看護学実習Ⅱ 成人・老年看護学実習Ⅲ	精神看護援助論Ⅱ 精神看護学実習	小児看護援助論Ⅲ 小児看護学実習	母性看護援助論Ⅱ 母性看護学実習	看護研究Ⅰ 遺伝看護 健康運動看護実践論	公衆衛生看護学概論 地区活動論 保健指導技術論 健康教育論Ⅱ 疫学演習
2年	臨床心理学 (ENP BⅡ)	感染症学 薬理学 疾病・治療論総論 疾病・治療論Ⅰ 疾病・治療論Ⅱ 疾病・治療論Ⅲ	公衆衛生学 疫学・保健統計 社会福祉論 看護関係法規	基礎看護技術Ⅲ 看護過程 基礎看護学実習Ⅱ	在宅看護論	対象別地域看護活動 健康課題別地域看護活動 健康教育論Ⅰ	成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ	精神看護学概論 精神看護援助論Ⅰ	小児看護学概論 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ	母性看護学概論 母性看護援助論Ⅰ		
1年	発達論 医学・医療概論	解剖生理学 解剖生理学演習 栄養生化学 栄養生化学演習 臨床病理学		看護学原論 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ ひむか看護実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 看護理論	ひむか看護論							

教養教育科目

導入科目：大学教育入門セミナー／情報・データリテラシー／英語／専門接続系
課題発見科目：データサイエンス系／自然・生命・技術系／人文・社会・芸術系／地域・国際・学際系
未来共創科目：構想・デザイン系

斜 体：選択科目
()：自由科目
網掛け：保健師課程

看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。



看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力(知識・技能)を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心(学問への関心)、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力(主体性)、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。

人々のメンタルヘルス向上に 貢献するために

近年、こころの健康(メンタルヘルス)に問題を抱える人が増えており、生涯を通じて5人に1人が精神疾患に罹患するとも言われています。そして看護師は、人々のメンタルヘルスの維持・向上に携わる重要な役割を担っています。精神保健領域における看護師の活動フィールドは、病院をはじめ地域・在宅にも広がり、ますます活躍が期待されています。私が担当する「精神看護学」では、人々がこころの健康を取り戻したり、よりよい状態を維持したりするためのさまざまな方法や、それらを看護に活かすための教育・研究を行っています。”世界を視野に地域から”人々のメンタルヘルスの向上に寄与できる看護職者や研究者を目指し、こころも元気な宮崎のために一緒に貢献していきましょう。



看護学科 精神看護学領域
教授 田上 博喜 Hiroki Tanoue



より良い看護実践と 看護学の発展のために！

宮崎大学には医学部看護学科を母体とした単一の研究科に特化した大学院看護学研究科があり、看護学の発展のための研究を行うとともに看護の質向上に寄与する人材育成に取り組んでいます。

看護学研究科には、実践看護者育成コースと研究者育成コースの2つのコースがあります。実践看護者育成コースでは、教育・臨床で研究的思考を持って実践する看護専門職として、がん看護専門看護師と助産師を育成しています。研究者育成コースでは、看護学と看護実践をつなぐ研究に必要な基礎的能力を身につけ、EBP(Evidence Based Practice)を実践できる臨床現場の若手看護師やリーダー、新たな看護学の知を創出できる教育者・研究者を育成しています。共通して履修するコースワークでは、研究

の基本を学ぶとともに医療人としての倫理的感受性を涵養するカリキュラムを用意しています。また、地域特性に対応しながら学際的・国際的視野を持つことや、研究を通して創出した看護の知を実装するために実践者、研究者、教育者間で連携・協働することも大事にしています。

看護学研究科で、より良い看護実践のための『批判的思考』を身につけ、人々の生活や暮らしの質の向上のために『看護学の知』を創出する方法論と一緒に学びませんか？



卒業後の主な進路

本学部附属病院、他の国公立大学附属病院、
他の公立・民間等病院、宮崎県職員(保健師)、
他の自治体職員(保健師) 他

取得可能な免許、資格

- 看護師(国家試験受験資格)
- 保健師(国家試験受験資格)^{※1}

※1 選抜制、2年次後学期に履修生の選考試験を行う。
保健師免許取得後、教育職員免許法の所要単位を修得し、
申請により養護教諭二種免許を取得することができます。